

## 焼津市自治基本条例・キックオフイベント「大ワールドカフェ」・感想

(第2回 焼津市自治基本条例を考える市民会議)

※順不同

平成23年11月13日実施(焼津市総合体育館 サブアリーナ)

- ◇良い意見が多く出た。これらが具体的な形になるように願いたい。  
これからは高齢者の時代。まだまだ力のある高齢者パワーの活用の話題がなかった。  
高齢者の話の筋道の通し方を若い人には学んでほしい。
- ◇時間が足りない。もう一度やりたい。若い人が参加していたのが大変よかった。
- ◇多世代の人と焼津について話し合えて良かった。表現は異なるが、コミュニティや声掛けなど、  
当たり前前なのが現在ではできていないのではないかと感じた。
- ◇質問が具体的でなく、掘みどころがなかったので戸惑った。  
若い人との会話が楽しかった。  
キーワードがたくさん出たのでそれをベースにいろいろ考えてみたい。
- ◇飲食に地元の素材の紅茶は良かった。地元の小麦、米粉、高草山のお茶を使ったクッキー、ク  
ーキ等があっても良いと思う。  
中学生、高校生が入ってやっても良いのではないか。  
これだけの人材を集められたスタッフに万歳。
- ◇会場の音響が悪く、会話が聞き取りづらかった。1テーブル5人くらいが良いと思う。
- ◇震災の後だけに、人と人とのつながりというものに皆関心があったように思う。人と人とのつ  
ながりがあれば、多くの問題は解決しそうな気がした。  
このような場に全く参加しない人たちの方が市民としては大多数だと思う。その人たちとの温  
度差がないだろうかと気になった。
- ◇参加者の意識の高さに驚いた。感じていることは皆似ているし、問題点の核心は絞られたと思  
う。参加者の中に現状の不満ばかり言う人がいるのは残念だった。人の意見を聞く、尊重す  
るというルールがあった方がいいと思った。
- ◇話題2の、自分ができることをきちんと考えることが大事であるが、そこが抜け落ちて、単に  
こうだったらいいと言い放しになってしまうことが多い。  
今回はとてもいい機会だったと思う。
- ◇さまざまな職種、年齢の人と楽しく語らうことができ、とても有意義な一日になった。あり  
がとうございました。
- ◇①各自の意見を残した記録を重視する  
②そうすると、市民の参加意識が高まる  
③2回目の「大ワールドカフェ」開催を期待している  
↓  
このようにして、この条例に興味を持つ市民を増やそう
- ◇話し合う時間が少なかったように思う。意見をまとめることに集中してしまう環境だった。  
自治基本条例を制定することが前提となっているか。市民の意見を汲み取る仕組みをつくるこ  
とが必要ではないか。むしろそちらが重要。
- ◇前向きな思いで集まった人がたくさんで、パワーをもらったイベントだった。  
学生たちの参加によって街に希望を感じた。明るくて、しっかりした良い学生たちだった。

このような、様々な人が集える(フリートークできる)場所(空間、イベント)を作ってほしい。

◇あっという間に終わった。楽しかった。思うことは同じだと思った。

コミュニケーションづくり〈安心・安全〉

駅前通りの発展〈観光〉

ゴミのないきれいなまち〈ゴミ資源の再利用〉

異なる世代の集まる場所づくり

◇中間で、今日の参加者に報告を兼ねたワールドカフェを開催したらどうか。(相模原の学生が焼津から離れ、もう一度どう感じるかも含めて)

◇大変楽しい時を過ごすことができた。88人の想いは焼津市を良くしたい、住みやすくしたいということが共有されていたと感じた。

市民15万人程度は大きくもなく、小さくもなく、まとめやすい規模だと思うので、これからこの基本条例の市民会議でさらに議論を重ねられると感じた。ありがとうございました。

◇いろいろと良い意見が出されたので、条例に取り入れる以外にも実施できればいいと思う。

◇いろんな人と自由に話ができて大変楽しかったし、勉強にもなった。問題意識を持った人との話だったので、もう少し深く話ができたらと思った。

最後に松下先生、今井さん、事務局の皆様、ありがとうございました。

◇お茶やライブは良かったが、1回目の意見交換の場は、ただ言って終わりという感じで盛り上がりなかった。紙に書くことで全員の意見が見られて、共通意見があったことがわかったのは良かったが、盛り上げ役がいたらいいと思った。もっと話が膨らんだら楽しくなると思う。

◇短い時間で焦点を絞りきれないまま話が広がっていく。それでも誰もがこの町を大切に思っていることを感じた。

市民を巻き込む企画を大切に作ってほしい。

会場の音声が場所によっては聞き取れないこともあった。

◇今回のイベントは私にとってまさにキックオフイベントだった。会議の概要を把握できた。

◇話題1大切にしたいこと、話題2できることと、似たようなキーワードだったので分け隔てるのが難しかった。時間が短いように感じた。組数が多い。

女子大や地元の学生など、若い人の意見が出て良かったと思う。ただ、市職員が穴を埋めることなく、もう少し幅広い市民が参加することが必要かと思った。(例えば自治会長すべてなど)

(質問)市民と住民の違いは?

◇皆の意見を聞いて良い勉強になった。今後さらに勉強、努力。

◇いろいろな世代、職業の人と楽しく話し合いができて良かった。有意義な時間が過ごせた。

「人のつながり」の意見が多かったが、焼津のオリジナリティのようなものが出せれば良かった(魚のまち、等)。

◇テーマはひとつにして、あと2回くらいメンバーチェンジをしたかった。

◇それぞれの立場によって意見は異なる。それぞれの立場でできることをまず考えることが必要。

市民一人ひとりが良いまちをつくるために考え、それを発信し、仲間と出会う場が必要。

「出会い系まちづくり」がキーワード。

- ◇各グループでやさしさが大事だという意見が多く嬉しかった。  
何事も机の上でなく実行してもらえるとありがたい。
- ◇条例を制定したら実行することが大切だと思う。市民・行政等、それぞれ覚悟をもって取り組むべき。
- ◇良い意味で条例制定を忘れ、話題 1・2に取り組めたこと。
- ◇世代間、地域間を越えた交流をする機会の場としての取り組みは大変良い、大切な機会だと思う。もっと小さな括りでも良いので、声を挙げる機会があればより多くの市民が参加しやすいのではないかと同時に、一人ひとりがまちづくりに関する意識が高まり自律(立)できるのではないかと感じた
- ◇多くの人とまちづくりに関して話し合うことができ、とても有意義なものだった。このような機会がたくさんあれば焼津はもっともっと良くなっていくと思う。
- ◇各班の発表を聞くと、同じような意見が多く出ていたので、市民の考えていることは同じ方向性なのかと感じた。今回の「大ワールドカフェ」は大変おもしろい取り組みだと思う。
- ◇自由な意見を表現し、また受け取るために、ワールドカフェという形式は非常に良いものだと思う。会場や細かいやり方を少しアレンジした上で、何かの機会にまた開催してほしいと思った。
- ◇今回の意見を集計、後日参加者に報告願えればと思う。  
今回の熱い思いをどのように実践、実行するかが参加者の責務と感じた。〈有言実行〉世代を越えての議論、策定に向けて大変重要であった。  
全国で手本となる条例策定を期待する。これも焼津市の「セールスポイント」の一つとなれば良い。
- ◇10年先を見据えて、新しい感覚のビジョンが少し見えてきた感じがする。
- ◇充実した意見交換ができ、本当に良い機会だったと思った。今まで自分が目を向けていなかった所や市民の人々の取り組み等、勉強になったことが多くあったため、今後に生かしていけたらと思う。
- ◇(偶然)若い世代のテーブルに着いた。元気パワーをもらった。
- ◇自治基本条例(まちづくり)。  
お金の頼らない地域づくり。  
自分のお金(税金)を正しく、有効に使う。その為の合意形成が得られる地域コミュニティの場所づくり、そのリーダー育成が必要。  
大井川町時代の町民総参加の「まちづくり条例」を再考(考え方を取り入れて)してほしい。  
どうしたら地域が元気になるか。
- ◇さまざまな立場の人が同じ目的で語り合える場として良い行事であったと思う。
- ◇地域サークル活動の仕組みづくりが必要。  
ボランティア活動のネットワークづくり。
- ◇時間が短いと思った。  
話題から派生した別の話の方が盛り上がった  
いろいろな人の意見や話が聞けて良かった。特に外の人のお話も大事だと思った。

- ◇今後、条例を制定する過程や委員会の討議内容が、どの程度までに公開され、どのように周知していくのか、結果だけでなく話し合いのプロセスもすべて可視化してほしいと思う。
- ◇焼津のことを真剣に考えてくれている多くの人と出会えて良かった。
- ◇若い人と高齢者と市民同士の対話集会がある程度できて良かった。  
とりまとめの中間発表等をしてもらえたら幸甚と思う。  
環境保全（きれいなまちづくり）について失業対策のツールに活用してもらいたいと思う。
- ◇学生、市職員、他市の人、有識者など、さまざまな分野の人と話ができて良かった。皆の意見を聞き、自分の意見を述べて参考になった。これらを活かして条例づくりをしていきたい。
- ◇大変楽しかった。
- ◇予め話し合う内容を示してもらえば、もう少し深く話し合いができた。
- ◇年代、男女比等、大変良いバランスが取れたメンバーでのワークショップだった。
- ◇「コミュニティ」でまとめたグループが多いことにビックリ。  
若い人の意見を聞けるコミュニティが大切。一般市民の数が少ないのが残念。
- ◇無作為抽的にメンバーが集まったらおもしろい。今回のようなやり方で、市内各地でできたらと思う。やはり、範囲は狭いと感じた。  
手書き横断幕が良かった。
- ◇高草紅茶が美味しかった。ご馳走様でした。  
一人ひとりの当事者意識が大事と感じた。
- ◇今回初めて焼津市を訪れたようなよそ者の私であるが、話に参加してみて少し、焼津市について知ることができた。また、参加している人が、まちを良くしたいと本気で考えていて、大変良い考えやアイデアがどんどん出てきていたので、聞くことが中心になってしまった私であるが、参加できて本当に良かった。焼津市は、景色や海が大変綺麗という印象を受けた。また訪れたい。
- ◇これから焼津市がよりよいまちになり、住みやすい市になれば良いと思った。  
私ができること、例えば挨拶プラス一言や、地域の行事に参加するなど、小さなことだが少しずつやっていきたいと思った。  
今回、参加して大変良い経験になった。ありがとうございました。
- ◇いろいろな年代の人の話や、自分では思いつかなかった意見が多く聞けて勉強になった。  
また、焼津市に住んでいる人に焼津の魅力を聞けて良かった。ありがとうございました。
- ◇いろいろな人と話すことができて大変良かった。いつもは会えないような人の話も聞け、新しい発見もあり、有意義な時間だった。
- ◇地域の中に埋もれている人、埋もれてしまった人の意見が聞けないのが残念だと思った。  
学生があまり発言できていなかった感じがある。  
本音で話し合えたのは良かった。
- ◇今回参加してみて、より焼津を好きになった。ありがとうございます。自分が住むまちがこれからどのようになっていくか楽しみである。
- ◇大勢の人の多くの意見が聞けて大変勉強になった。  
さまざまなキーワードが出て、いろいろなまちづくりの考えがあるな、と楽しかった。

- ◇今回焼津市についての知識なく参加させてもらったが、もっと焼津市の魅力をほかの地域の人びとにも知ってもらいたいと思った。より良いまちをつくっていくためには、人と人とのつながりが大切になると改めて感じた。
- ◇楽しかった。こういうものは大人（歳が上の人）が参加するのも大変良いことだと思うが、もっと若い人がいても良いと思う。これからのまちをつくっていくのは今の若い人たち。いくら上の人たちが汗水垂らして頑張っても、若い人に伝わらなければ、とてももったいないと思う。今の若い人たちに抵抗がある人がたくさんいると思うが、それでも耳を傾けてくれる人もいると思う。頑張してほしい。私たちも頑張りたいと思う。
- ◇焼津の人々が、同じことを考え、意見を出し合うことが大変素敵だと感じた。意見をどのように取り入れたらよいか、皆の話を聞いて大変勉強になった。若い人が働きたいと感じる職場づくり、「安全であたたかい土地だ」と皆が感じるようなまちづくりが大切だと思った。
- ◇よそ者であったが、皆が大変温かく迎えてくれて楽しく過ごすことができた。正直、このまちは何があるのだろう、とまってしまっていたが、今回のワールドカフェでたくさん魅力を知ることができた。大学や地元の子にPRしようと思う。
- ◇多くの大人の人から見た意見を聞くことができて、大変勉強になった。  
グループ内では、子どもっぽい意見だと思って言えなかったのだが、せっかくなので書きたいと思う。多くの意見を聞いて、「どうして難しく考えるのかな」と思う時があった。幼児、小学生、高齢者も焼津市民だ。その人たちも、この企画に関わる権利がある。だから、もっとわかりやすくシンプルに考えればいいのに、と思った。
- ◇私は、焼津市というより自分のまちで考えてみたが、意見を聞いて、どのまちでもどんな人でも同じような思いがあると気付かされた。その中でもそれぞれいろいろな考え方があり聞いていておもしろかった。
- ◇このような機会はあまりないので、貴重な体験をさせてもらったと思う。年代、職業が異なるので、いろいろな視点からの意見が聞けておもしろかった。今回、皆から出た意見がまちづくりに反映されることを願っている。焼津市がより良いまちになりますように。
- ◇いろいろな人と話ができて楽しかった。似たような意見や、全く考えていなかったことなどが聞けて大変勉強になった。  
焼津に対していろいろ考えている人、活動している人が多く、話し合いも大いに熱中していた。このような場に参加したのは初めてで、緊張したが、良い経験になった。
- ◇自分の意見があまり専門的ではないので、幼稚な意見であきれられてしまうのではと不安であったが、そういう視点も大事と言ってもらって、大変充実した時間が過ごせた。今回は条例で集まったが、さまざまな人と関わることができたので、これからまちで会ったときにお話ししたいと思う。
- ◇焼津市の人びとの焼津市に対する熱い思いをひしひしと感じた。また、自分自身を翻ってみたとき、自分は地元に対してそれほど熱意を持っていないことに気付いた。今回感じたことや反省したことを自分の住んでいるまちづくりにつなげていこうとも思った。今回参加できて大いに良かった。しかし、皆の発表を聞いて、皆が似たようなことしか言わないと思った。何時間をかけて話し合った割にはあまり建設的ではなかったと、正直思った。どうせならもっと実のある話をすれば良かったとよそ者の目線から大いに思った。
- ◇参加者が積極的に意見を言い合える環境が良かったと感じた。

- ◇今までこのような会議に参加したことがなく、「まち」というものを考えたことがなかったので新鮮だった。ただ、「ワールドカフェ」ということだったが、まだまだ話しにくさはあったように思う。もう少しフランクに、年齢を感じずに、気にせず話せる場になるといいと思った。
- ◇初めて参加させてもらったが、神奈川県生まれ神奈川県育ちなので焼津市のことを何も知らなかったが、大ワールドカフェに参加している人たちと同じ話題を話させてもらって、まさかこんなにも自分の意見を聞いてきてくれるとは思ってなかったので大変楽しいイベントになった。大変貴重な時間をありがとうございました。
- ◇焼津というまちは魚だけが有名なのかと思ったが、スイーツも有名ということは知らなかった。子どもを預けられるまちが、親にとって働きやすく住みやすいと思う。(例：川崎市のこども文化センターと小学校併設のわくわくプラザなど)
- ◇いろいろな立場の人の意見、特に若い人の話を聞くことができて良かった。  
自治基本条例について市民に情報をこまめに提供することを希望する。
- ◇市民が主役の、市民がつくる市民の自治基本条例をつくってほしい。
- ◇「人と人とのつながりを深める」という意見がどのグループでも出ていることだった。これが大きなキーワードとなると思うので、条例の中でも大きく盛り込んでいくことができたらと思う。
- ◇いろいろな人の考え、意見を聞くことができて大変勉強になった。条例づくりの節目で、またこういうものを開催して、いろいろな意見を聞いて、より良いものにしていくことができればいいと思う。
- ◇グループワークも、メンバーを変えたりすることは大変良いと思った。カフェスタイルで和やかに話げできた。
- ◇情報共有し合うため、向こう三軒両隣の意識向上により、対話の場を必要とする
- ◇前向きの人が多くいることに感動した。
- ◇多くのグループから、同じような意見が出ることに驚いた。普段は話す機会のない人びとと気軽に話すことができて良かった。
- ◇大勢の人がいる中で、人びとのつながりに重点を置く意見が多いので、驚くとともに思いは皆同じなのだと嬉しくも思った。また、気安く皆の話が聞けて嬉しかった。